

平成30年度北区社会福祉協議会主要事業

(3月末現在実績)

基本目標1 気づきあいと思いやりのある地域づくりを進めます。

基本方針1 福祉サービス制度や地域福祉計画・地域福祉活動計画について、区民への普及・啓発を一層進めます。

6 地域福祉推進フォーラム . . . P.1

基本方針2 地域のつながりを大切にし、お互いに気づきあえる関係を構築し、福祉サービス制度等による支援を必要とする人を把握する体制づくりを進めます。

3 地域包括ケア推進に係る生活支援体制整備事業 . . . P.4
(支え合いのしくみづくり出前講座)

基本目標2 助けあい、支えあう地域づくりを進めます。

基本方針1 地域の力を活用して、支えあい・助けあいのための仕組みづくりを進めます。

6 自治・町内会長地域福祉研修会の開催 . . . P.9

基本方針2 福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。

2 サマーボランティアスクール(ボランティア体験学習) . . . P.15

3 ボランティアきっかけづくり講座 . . . P.17

4 地域福祉座談会 . . . P.19

平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標 1	気づきと思いやりのある地域づくりを進めます。		
基本方針 1	福祉サービス制度や地域福祉計画・地域福祉活動計画について、区民への普及・啓発を一層進めます。		
	事業名	平成 30 年度北区地域福祉推進フォーラム	
事業目的・対象	【目的】区民への地域福祉に関する啓発の機会および地域福祉計画・活動計画の推進 【対象】北区区民等		
開催年月日	平成 30 年 11 月 24 日（土）午後 1 時～ 4 時		
会場	新潟市北区文化会館		
参加者数	303 名	共催団体	北区健康福祉課

【実施内容・効果】

- (1) 平成 30 年度新潟市北区社会福祉協議会会長表彰式
被表彰 14 個人 4 団体
- (2) 基調講演 語り継ぐもの～中越大震災 2004. 10. 23 震度 7～
「顔の見える人間関係で、安心な街に」
講師 青葉台コミュニティ推進協議会 会長 畔上 純一郎 氏
「かあちゃんをつくる田舎料理が、地域の魅力に」
講師 農家レストラン「多菜田」代表 五十嵐 なつ子 氏
- (3) シンポジウム
「防災活動から始まる地域づくり」
コーディネーター
新潟医療福祉大学 副学長 丸田 秋男 氏
シンポジスト
青葉台コミュニティ推進協議会 会長 畔上 純一郎 氏
農家レストラン「多菜田」代表 五十嵐 なつ子 氏
前新潟市立有明台小学校長 長尾 嘉博 氏
長浦コミュニティセンター センター長 柳澤 明仁 氏
- (4) 閉会にかえて ～ジュニアマーチングバンドとよさかによる演奏～
- (5) アンケート結果については、別紙参照。



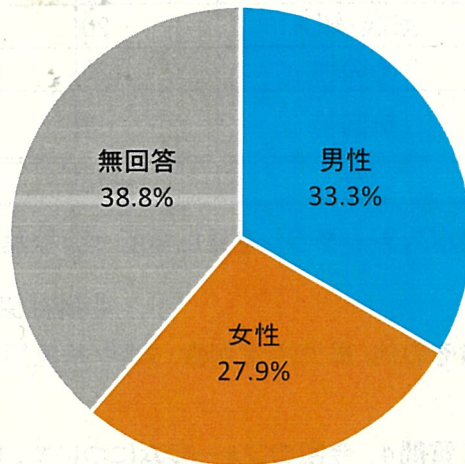
平成30年度 新潟市北区地域福祉推進フォーラム アンケート集計結果

開催日時	平成30年11月24日(土) 13:00~16:00
開催場所	新潟市北区文化会館ホール
来場者数	303名
回収数	165名

<質問1. 性別と年齢を教えてください。>

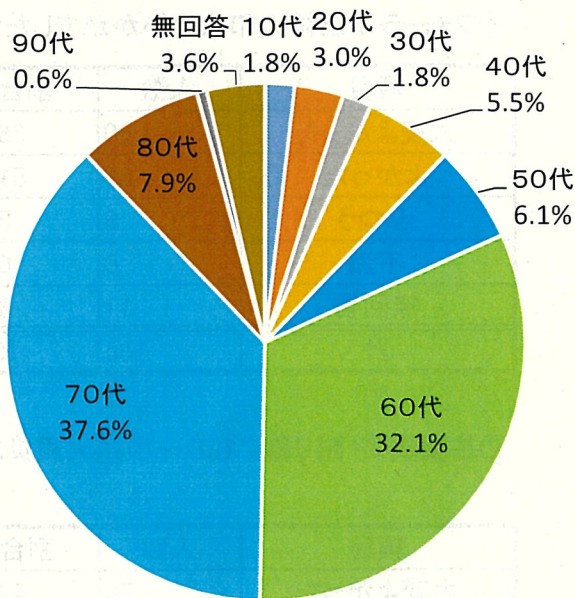
<性別>

項目	人数	割合
男性	55	33.3%
女性	46	27.9%
無回答	64	38.8%
計	165	100%



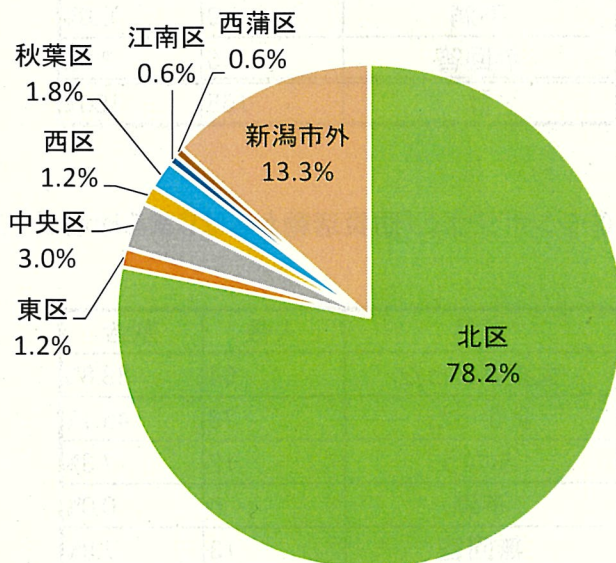
<年齢>

項目	人数	割合
10代	3	1.8%
20代	5	3.0%
30代	3	1.8%
40代	9	5.5%
50代	10	6.1%
60代	53	32.1%
70代	62	37.6%
80代	13	7.9%
90代	1	0.6%
無回答	6	3.6%
計	165	100%



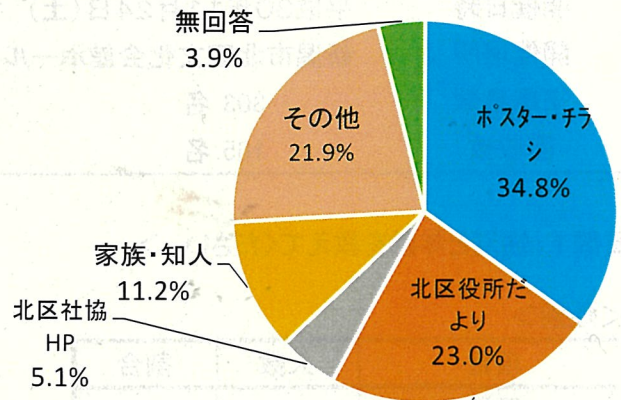
<質問2. お住いの地域を教えてください。>

項目	人数	割合
北区	129	78.2%
東区	2	1.2%
中央区	5	3.0%
西区	2	1.2%
南区	0	0.0%
秋葉区	3	1.8%
江南区	1	0.6%
西蒲区	1	0.6%
新潟市外 (新潟田市・長岡市・糸魚川市)	22	13.3%
計	165	100%



<質問3. 平成30年度北区地域福祉推進フォーラムをどこでお知りになりましたか。(複数回答)>

項目	人数	割合
ポスター・チラシ	62	34.8%
北区役所だより	41	23.0%
北区社協HP	9	5.1%
家族・知人	20	11.2%
その他	39	21.9%
無回答	7	3.9%
計	178	100%



■ポスター・チラシを見た場所: 北・秋葉区役所・長岡市役所・長岡市社会福祉センター・豊栄地区公民館

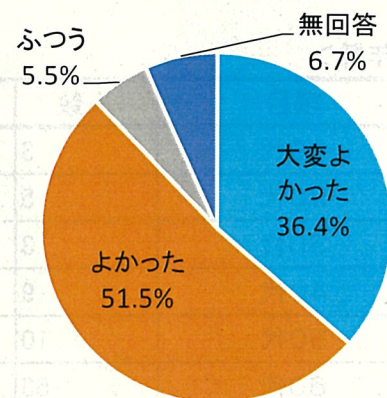
北区社協・まちづくりセンター・コミュニティセンター・消防署・自治会・職場

■その他: 民児協定例会・大学・糸魚川市社協・防災士会・町内防災会・自治会活動を通じて

<質問4. 今回のフォーラムについて、感想をお聞かせください。>

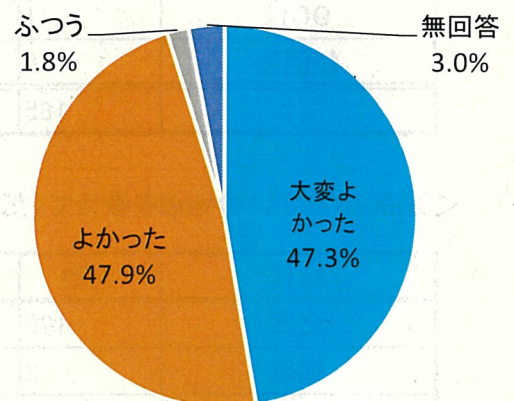
①フォーラム全体の印象はいかがでしたか。

項目	人数	割合
大変よかった	60	36.4%
よかった	85	51.5%
ふつう	9	5.5%
不満	0	0.0%
無回答	11	6.7%
計	165	100%



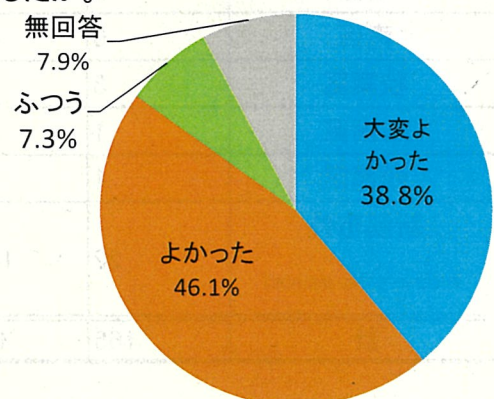
②基調講演「語り継ぐもの～中越大震災2004.10.23震度7」はいかがでしたか。

項目	人数	割合
大変よかった	78	47.3%
よかった	79	47.9%
ふつう	3	1.8%
不満	0	0.0%
無回答	5	3.0%
計	165	100%



③シンポジウム「防災活動からはじまる地域づくり」はいかがでしたか。

項目	人数	割合
大変よかった	64	38.8%
よかった	76	46.1%
ふつう	12	7.3%
不満	0	0.0%
無回答	13	7.9%
計	165	100%



平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標 1	気づきと思いやりのある地域づくりを進めます。			
基本方針 2	地域のつながりを大切にし、お互いに気づきあえる関係を構築し、福祉サービス制度等による支援を必要とする人を把握する体制づくりを進めます。			
	事業名	地域包括ケア推進に係る生活支援体制整備事業 (支え合いのしくみづくり出前講座)		
事業目的・対象	<p>【目的】地域包括ケアシステム構築の背景や、支え合いの手法について理解を深め、支え合いの意識を醸成するとともに、地域での支え合いのしくみづくりの取り組みのきっかけになるように出前講座を開催する。</p> <p>《講座内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 支え合いのしくみづくりと地域包括ケアシステム 2. 地域の居場所（地域の茶の間・サロンなど） 3. 訪問型生活支援（ちょっとした生活の困りごとのお手伝い） 4. 地域交流（自治会行事など） 5. 見守り・安否確認 6. 支え合いのしくみづくり座談会 			
実施内容				
実施日	団体名・会議名／会場	圏域	内 容	人 数
5/2 (水)	地域の茶の間「みどり会」運営検討会／杉名町公民館	葛塚 木崎 早通	【講話】 地域の茶の間ってなあに？役割と効果	7 名
5/7 (月)	J C (一般社団法人にいがた北青年会議所) 勉強会／町北幸 新潟市在宅医療・介護連携ステーション北と共催	北区	【講義】 地域包括ケアに向けてひとりひとりができること 【講師】 松田内科呼吸器科クリニック 松田先生 【グループワーク】 企業として地域包括ケアシステム～支え合いのしくみづくり～に何ができるのか	25 名
5/11 (水)	地域の茶の間「お越しください」／観音寺	松浜 南浜 濁川	【講話】 支え合いのしくみづくりについて 【グループワーク】 助け合い体験ゲームを活用して、生活上の困りごと、あったらいいな、この先心配なことについて	35 名




5/23 (水)	北区老人クラブ連合会 役員会／豊栄さわやか 老人福祉センター	北区	【講話】 地域包括ケアシステム ～支え合いのしくみづくり～	8 名
6/9 (土)	松浜新町スマイルサロ ン／松浜新町自治会館	松浜 南浜 濁川	【講話】 松浜地域の現状と地域の茶の間の役割に ついて 【グループワーク】 助け合い体験ゲームを活用して、生活上 の困りごと、あったらいいな、この先心 配なことについて	15 名
6/10 (日)	高森新田自治会サロン 「ふれあい福祉」／高森 新田公民館	岡方 長浦	【講話】 支え合いのしくみづくりと地域包括ケア システム 【グループワーク】 生活上現在困っていること、この先心配 なことについて	20 名
6/15 (金)	長場自治会「ピーチサロ ン長場」／長場公民館	岡方 長浦	【講話】 地域の茶の間の役割と効果 【グループワーク】 講話の感想、茶の間でやってみたいこと、 茶の間で自分ができそうなことについて	17 名
6/23 (土)	葛塚中央コミュニティ 協議会 支え合いのしくみづく り座談会／白新町公民 館	葛塚 木崎 早通	【講話】 地域包括ケアシステム ～支え合いのしくみづくりについて～ 【グループワーク】 ①地域の現状、困りごと ②困りごとに対してどんなことができた ら良いのか	33 名
7/25 (水)	松浜東町自治会地域の 茶の間「あずまや」／松 浜東町自治会館	松浜 南浜 濁川	【講話】 地域の茶の間の役割と効果 【グループワーク】 松浜東町の良いところや、あったらいい なと思うものやこと、「あずまや」でして みたいこと、どうしたら具体的に行える か	13 名
8/30 (木)	ギョットつなごう健康 サロン／早通健康福祉 会館	葛塚 木崎 早通	【講話】 サロン参加や地域で役割があることが健 康に与える効果について 【グループワーク】 助け合い体験ゲーム	46 名

8/30 (木)	区役所向け講座 新潟市在宅医療・介護連携ステーション北と共催「医療と介護の出前セミナー」	北区	【講話】 支え合いのしくみづくりについて	19 名
9/1 (土)	笹山ふれあい好日会／ 笹山公民館	葛塚 木崎 早通	【講話】 支え合いのしくみづくり ～地域の支え合い～ 【グループワーク】 ご近所助け合い体験ゲーム	16 名
10/17 (水)	北3地区合同民協定例会 研修会／北出張所	松浜 南浜 濁川	【講話】 支え合いについて	55 名
11/5 (月)	朝日町万年青クラブ出 前講座／朝日町公民館	葛塚 木崎 早通	【講話】 支え合いのしくみづくり ～地域の助け合い～ 【グループワーク】 ご近所助け合い体験ゲーム	30 名
11/7 (水)	長場自治会「ピーチサロ ン長場」出前講座／長場 公民館	岡方 長浦	【グループワーク】 ①6月の出前講座時に行ったグループワ ークの振り返り ②前回講座後より新たに取り入れた 「区づくり事業 専門職の派遣事業」の 講座(4回実施)・「新潟総踊り体操」実施 の感想 ③今後サロンで行いたいこと ④交通に関する情報提供	14 名
11/11 (日)	石動自治会「地域福祉講 演会」／ドリームカレッ ジ	葛塚 木崎 早通	【講義】 お互いさまのちいきづくり ～超高齢社会における2025年問題～ 【講師】 新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 青木准教授 【グループワーク】 支え合いについて	17 名
11/20 (火)	十二自治会サロンさく ら会出前講座／十二ふ れあいセンター	岡方 長浦	【グループワーク】 ご近所助け合い体験ゲーム	10 名

11/28 (水)	内島見健康サロン出前 講座／内島見公民館	葛塚 木崎 早通	【講話】 支え合いのしくみづくり ～地域の助け合い～	30 名
12/9 (日)	平成30年度第1回北新 潟ちいきづくり学会(は まなす学会)研修会／新 潟医療福祉大学	松浜 南浜 濁川	【テーマ】 「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを 続けることを支えるしくみ」について考 える 【報告】 ①SCとは、地域包括ケアシステムとは ②地域の茶の間について ③住民主体の生活支援につい ④つながる新潟の地域力について ⑤支え合いのしくみづくりの出前講座に ついて	35 名
2/6 (火)	長場自治会「ピーチサロ ン長場」／長場公民館	岡方 長浦	【グループワーク】 週1回への茶の間移行を踏まえて、活動内 容や担い手を広げることを目的とした話し 合い。	14 名
2/16 (土)	大月老人クラブ出前講座 ／大月公民館	岡方 長浦	【グループワーク】 ご近所助け合い体験ゲーム	22 名
2/16 (土)	太田ちいきコミュニティ 協議会座談会／太田古屋	葛塚 木崎 早通	【講話】 支え合いのしくみづくりについて 【グループワーク】 テーマ「支え合える地域にしていくため には」 ①地域の現状、困りごと ②困りごとに対してどんなことができ たら良いのか	13 名
2/23 (土)	葛塚東小学校区コミュニ ティ協議会座談会	葛塚 木崎 早通	【講話】 支え合いのしくみづくりについて 【グループワーク】 テーマ「支え合える地域にしていくため には」 ①活動状況について ②既存の活動を発展させるためにどん なことができれば良いのか	37 名

2/25 (月)	北区老人クラブ連合会若 手部リーダー研修会／豊 栄地区公民館	北区	【講話】 支え合いのしくみづくりについて 【グループワーク】 ご近所助け合い体験ゲーム	19 名
2/26 (火)	白勢町ひまわり会／白勢 町自治会館	松浜 南浜 濁川	【講話】 支え合いのしくみづくりについて 【グループワーク】 ご近所助け合い体験ゲーム	15 名
3/3 (日)	平成30年度はまなす学 会&コミュニティ・カレ ッジ合同研究会／新潟医 療福祉大学 ※北新潟ちいきづくり学 会、北地区公民館主催	松浜 南浜 濁川	【現状報告】 自治会の抱える地域課題の現状について 3自治会からの現状報告 【意見交換】 「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続 けることを支えるしくみ」について意見交 換	約 50 名
合 計				約 615 名

平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2	地域の力を活用して、支えあい・助けあいのための仕組みづくりを進めます。		
	事業名	平成 30 年度自治・町内会長 地域福祉研修会	
事業目的・対象	<p>【目的】</p> 自治・町内会における世代交流や見守り活動などの推進		
	<p>【対象】</p> 自治・町内会長、自治・町内会役員等		
開催年月日	①平成 30 年 7 月 24 日（火）午後 1 時 30 分～3 時 30 分 ②平成 30 年 7 月 26 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 30 分		
会場	①豊栄地区公民館 大講堂 ②北地区公民館 大ホール		
参加者数	169 名	共催団体	北区健康福祉課
<p>【実施内容・効果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 説明「参加しやすい自治・町内会のあり方」 講師 新潟医療福祉大学社会福祉学部 教授 渡邊敏文 氏 2. 北区内の自治・町内会の取り組み事例紹介 事例発表 三ツ屋自治会、つくし野自治会 3. 情報交換 4. 北区社会福祉協議会、北区健康福祉課による事業説明 <p>参加者からは、「2つの自治会説明の中で苦勞していることについては、どこの自治会でも同じであると感じた」「グループでの情報交換の場は有意義だった」等の声があり、自治・町内会で取り組む活動の推進に資する研修会となった。アンケート結果については、別紙参照。</p>			
			
			

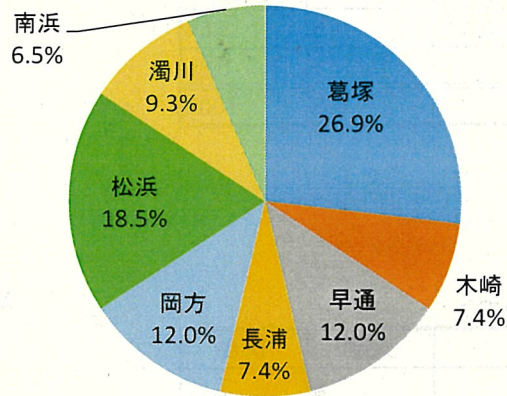
平成30年度 自治・町内会長 地域福祉研修会 アンケート集計結果

開催日時/会場	平成30年7月24日(火)13:30~15:30/豊栄地区公民館 平成30年7月26日(木)13:30~15:30/北地区コミュニティセンター
来場者数	計169名
回収数(率)	108名(63.9%)

1. お住いの地域と年齢を教えてください。

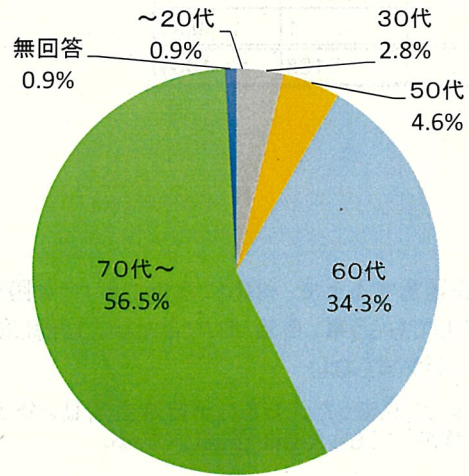
<地域>

項目	人数	割合
葛塚	29	26.9%
木崎	8	7.4%
早通	13	12.0%
長浦	8	7.4%
岡方	13	12.0%
松浜	20	18.5%
濁川	10	9.3%
南浜	7	6.5%
無回答	0	0.0%
計	108	100%



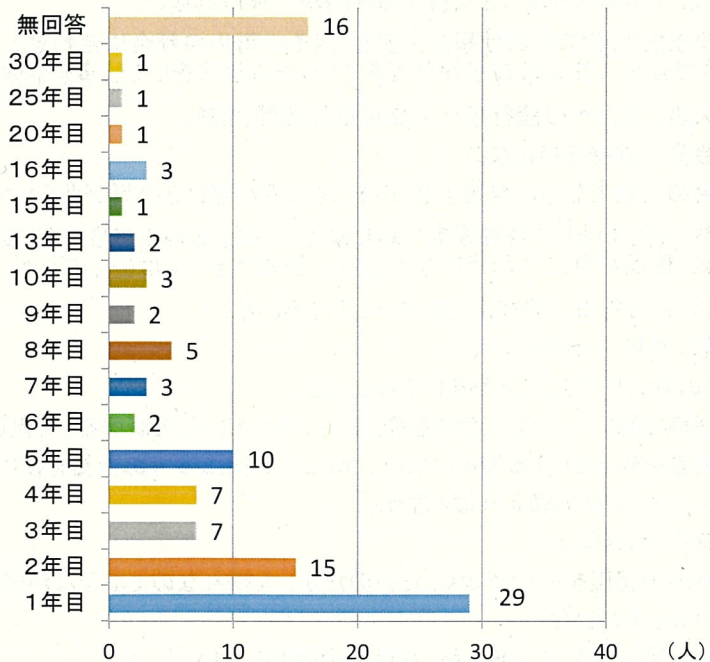
<年代>

項目	人数	割合
~20代	1	0.9%
30代	3	2.8%
40代	0	0.0%
50代	5	4.6%
60代	37	34.3%
70代~	61	56.5%
無回答	1	0.9%
計	108	100%



<自治会役員・民生委員就任年数>

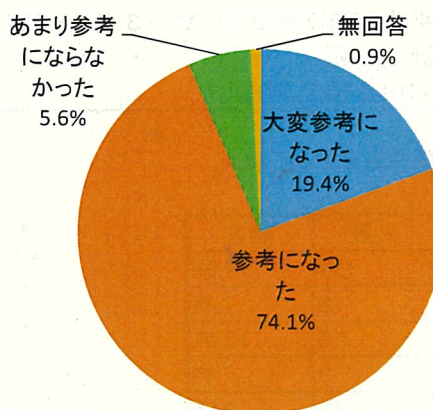
項目	人数	割合
1年目	29	26.9%
2年目	15	13.9%
3年目	7	6.5%
4年目	7	6.5%
5年目	10	9.3%
6年目	2	1.9%
7年目	3	2.8%
8年目	5	4.6%
9年目	2	1.9%
10年目	3	2.8%
13年目	2	1.9%
15年目	1	0.9%
16年目	3	2.8%
20年目	1	0.9%
25年目	1	0.9%
30年目	1	0.9%
無回答	16	14.8%
計	108	100%



2. 内容について教えてください。

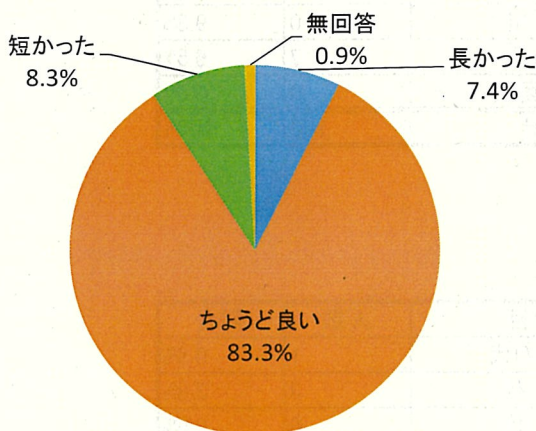
<内容について>

項目	人数	割合
大変参考になった	21	19.4%
参考になった	80	74.1%
あまり参考にならなかった	6	5.6%
無回答	1	0.9%
計	108	100%



<時間について>

項目	人数	割合
長かった	8	7.4%
ちょうど良い	90	83.3%
短かった	9	8.3%
無回答	1	0.9%
計	108	100%



<自治・町内会を運営する上で、対応に苦慮するような困りごとがありましたら教えてください。>

- ・外国人から加入してもらおう事。自治・町内会組織を理解してもらうことは難しい。
- ・サロンのスタッフが集まらない
- ・町内が大きくなると、決まった人たちしか自治会活動、公民館活動に参加していない。こもりがちな人たちをどうやって活動や行事に参加してもらえるか思案している。
- ・お茶の間を4年間していますが参加者がいつも同じで人数もあまり増えません。良い考えを教えてください。
- ・高齢者、一人暮らしの方を支援する時間が中々取れない。
- ・私自身まだ30代のため仕事が大変忙しくその町内の都合に合わせて休みを取っています。仕事に行こうとするタイミングで自宅に住人の方が訪ねてきてクレーム対応をして仕事を半休しなくてはいけなくなりました。
- ・役員人選、会員への諸行事への参加協力依頼(要請)
- ・自治会員が興味を持たない。
- ・自治会の役員でないが自治会長が特になり手が無いとの話が多く出た。多くの問題が出てきており大変と思われる。
- ・ふれあいを狙いとして各種事業に取り組んでいる。その中で順にくる役員をはじめ、隣近所との付き合いを全く持とうとしない住民が目につくようになってきた。声掛けをしてはいるのだが、中々参加してもらえず困っている。
- ・草刈りなどの行事に絶対出てきてくれる方がいる。
- ・福祉部1年目でよく分からない。
- ・数多くの老人に福祉の活動をしてもらいたい。
- ・会社組織で動いた人は自治会も同じように考えている人が居る。協働のボランティアを理解してもらおうようにしている
- ・自治会長をやってくれる人がいない。コミュニティセンターの会議を夜にやってもらいたい。
- ・若い人にもっと参加願えればと思う。
- ・参加者が少なくなった。
- ・住民参加の程度をちょうどよくしたいのだが、人様々なのでなかなか苦勞あり。
- ・三役のなり手がいない。
- ・自治会行事に少数ではあるが、高齢者が参加しない。
- ・学生アパートが100世帯はあるが、上記イベントには全く参加しない。特に防災訓練について。

- ・高齢化がすすんでくるため、班または組の仕事も困難になってきている。
 - ・三役のなり手が無く苦労している。毎年同じこと繰り返している。
 - ・役員や一般の人の協力が足りない時がある。
 - ・自治会長のなり手がいない。これは昼間の会議が多い。
 - ・敬老会や医療キットの配布など、各自治体は各事業の成功に向けて苦労していますが、行政も個人情報保護法だけをりゆうにするのではなく、対象住民から同意を得るなどして情報提供するよう検討努力してほしい。なんでも自治会の責任にするのはいかがなものかと思う。
 - ・町内会費不払いの会員に対する対応
 - ・部屋の賃料をどうしたらよいか。
 - ・子育て家庭の若い人の自治会活動に参加をもっとしてもらいたい。
 - ・個人情報自治会の触れ合いなどに対して弊害になっている。敬老会の名簿等。
 - ・役員をやる人がいない。
 - ・老人の1人世帯者の増加に関する取り組み。
 - ・アパート等集合住宅の連絡方法、無関心
 - ・役員のリクルートにつきる。役員が多世代参加(10代から20代の役員がほしい)
 - ・自治会に求められることが多くなっている。高齢社会を迎えて、支え合い、子供の見守り、災害時の支援。しかし、今の自治会は多忙すぎる。自治会独自の取り組み。ごみ、環境整備、まつり、敬老会。自治振興会、コミ協の活動。地域の小中学校の行事等への参加・行政からの回覧など事務。とても「支え合い」「見守り」「支援」の活動まで手が出ないのが実情である。行政、社協、学校から、是非そんな自治会の実情を理解してほしい。
 - ・個人情報保護との兼ね合い、苦慮。優先は人命か、情報保護か。高齢化による様子見が深刻。自治会長の成り手がいない。苦労を見ているために
 - ・町内で修理をするものを自治会の役員に話をしないで区役所の建設課に話をし、それを修理してもらったとのことで、役員としてはどうしたらよいか。
 - ・当自治会の高齢化が進み、昭和30年代に分譲された地域のため、当時30代のお父さんも60年経過した中で、自分は高齢になり、子供達はほとんど松浜に居住せず、東区に住んでいる人が多い。したがって、独居老人や高齢者世帯が増え、発足当時各組20世帯位で組を構成していたのですが、現在、組の80歳以下の世帯5軒位になる組も現れ、その組は役員(組長・婦人部・総務委員)の周りが早いため、隣の組と合併したいとの意見が自治会長に寄せられ、隣の両組へお話ししたところ、両方から断られて困っている状況です。断る理由は、一緒になると組員が増えて、回覧、寄付、町内会費の徴収に手間がかかる。その上、役員になる年数が早くなり一緒になる事が出来ないとの理由です。弱っています。
 - ・月1回のお茶のみ会なのですが、いるも同じ方が参加なので、どのように人が多く集まっていたらいいか。
 - ・空き家対策はどのようにしたらよいか。
 - ・自治会に加入しない方が増えている。
 - ・役員をしている時しか行動していない。責任が無い。
 - ・参加者が減少している。
 - ・年寄りによるゴミの処理
 - ・空き家・空地対応(荒れ放題になっている)所有者不明。1年間野放し。美化・環境は大いに悪化し、スズメバチの巢も取り、区へ相談中だが、解決の目途無し。解決方法を知りたい。
 - ・高齢化、独居、防災、地域維持など多くの課題があるが、これらを自治会として、取り組み、対策など協議し進めることが重要と感じた。
 - ・対人関係が難しい。
 - ・各事業の参加人数が少ない。特に男性。
 - ・高齢化による町内会の対応
 - ・老人が多くなっているにもかかわらず、老人クラブに入っていないので残念です。老人が20人以下になると老人クラブを解散せざるを得ないようになっていきます。そうすると医療費の増加により市の予算が無くなる。
- <参加してみて、いかがでしたか?ご自由に感想をお書きください。>
- ・参考になる意見が多く良かったです。
 - ・情報交換、話し合いがよく聞こえなかった。
 - ・色々な町内会のお話を聞かせていただき参考になったこともありました。
 - ・他自治会の話聞いて良かった。
 - ・参考になった。
 - ・2つの自治会説明の中で苦勞されていることについては、どこの自治会でも同じであると感じました。
 - ・つくし野自治会の緊急情報キット

・他の自治会との交流となり、とても今後の活動において参考になりました。豊栄で生まれ育ち一度も豊栄から出た
いと思ったことは無くその様に思える人達が増える豊栄であってほしいと思います。お祭りは以前のように灯籠のぶ
つかり合い

- ・グループでの意見交換は大変良かった。自由に話しができる時間に気づきがあった。
- ・今回1テーブル5~6人程度にしたのは大変良い。議論は偏ったかもしれないが、かなり濃い話ができたとと思う。
- ・他自治会も同じ悩みを持っていることがわかった。
- ・参加された自治会の困りごとを発表してヒントになる解答があつて有意義なものだと感じた。
- ・情報交換会もテーマごとに行った方が良い。
- ・グループでの情報交換の場は有意義でした。
- ・他の自治会の具体的な話が聞けて良かった。
- ・とても参考になりました。皆様一生懸命な方が多く、同じテーブルの方の自治会の方の意見を聞けて良かったです。
- ・回覧版の件、ゴミ収集所に情報を告知するという案はとても良いと思いました。
- ・楽しい話し合いになりました。
- ・ゴミステーション連絡用のポスターを貼るのにはためになった。
- ・他の自治会の取り組み状況を聞いて参考になった。
- ・他の自治会の運営は参考になった。
- ・少しためになった。他者との意見が聞かれた。
- ・他の自治会の情報を得られて良かったが、地区によって違いがあり必ずしも参考にはならない面がある。
- ・環境の違う自治会の状況が聞けてよかった。
- ・地域差があるので、参考になることもあるが、金額のかかる行事については無理がある。
- ・色々の自治会の皆様と話ができた。参考になりました。
- ・高齢化による自治会員の歯抜け状態がある。組織の見直しも必要になってくるのではないか。
- ・三ツ屋自治会・つくし野自治会の体験談が非常に参考になった。
- ・他の自治会の話が聞けて良かった。ほとんど他の自治会のことは分らない。
- ・なんとなく物足りない時間でした。
- ・成功事例はありがたいし、モチベーションが少し上がる。
- ・平日の時間は会社勤めの者には厳しい。内容は参考になった。
- ・良かった。ただし、質問の時間及び返答は手短くまとめてほしい。
- ・他地区の現状との差(環境や地域性)が感じられる。
- ・グループ毎に話をするのは他の区域の人との交流があり良いと思います。
- ・顔見知りの方と同席でき、つながりの広がりがあった。
- ・他の自治会の人と話をするのは良かった。研修会の内容を見ながらすべきである。時間が少ないのか。
- ・大変参考になった。各地区とも高齢化で苦慮していることが同じようだ。

3. 次年度の自治・町内会長 地域福祉研修会について教えてください。

<どのような内容の研修会を希望しますか？>

- ・お年寄りももちろんですが、子供たち、その前に子供も産みたいと思う事も福祉だと思います。産まない選択も個人
の事です。私自身その選択肢し、仕事に生きがいという女性も多くいます。子どもを産むだけが全てではないという
事を踏まえてお話いただけたら幸いです。
- ・自治会長にはいろんな顔がある。行政的な面。福祉、厚生等。その他地域のまとめ役等。どの面を主役として考える
- ・発表自治会・町内会の発表レジュメを用紙してもらいたい。グループでの話し合いは有意義でした。
- ・同じ内容でよいと思う。他の自治会2つ発表。三ツ屋自治会、つくし野自治会様本当にありがとうございました。
- ・発表がないから気持ちが楽で話し合いが出来る。
- ・新人自治会長に声掛けをして実施してほしい。ベテランはあまり必要が無いのではないか。
- ・今回のような形式でやってもらいたい。同じ内容でよいのではないか。
- ・新人自治会長だけの研修会を行った方が良い。
- ・自治会役員に次の世代をどのようにとりいれたたいいか。他の自治会の役員年代は。
- ・見守り対応をどうするかなどの知恵。
- ・他の自治会の情報がわかるような研修。今日のは参考になった。
- ・空き家・空地対策について。行政、協議会も積極的な対応策等検討してほしい。
- ・自治会に若い人をどのように参加してもらうことができるのか。魅力のある自治会とは？
- ・お茶の間サロン担当者の交流会、情報交換、成功事例発表。というより、各サロンの年間実績を報告しているの
で、社協でまとめて一覧表にして各サロンに報告してほしい。ボランティア講師を探すの大変です。

- ・しばらく継続してほしい。自治会長が現実困っていることが多いので、研修内容の検討時調査してほしい。
- ・今年と同じくグループワークが良いと思う。
- ・若者(学生～50代前後まで)をどう惹きつけるか。
- ・高齢者の認知症に関する研修会を取上げて欲しい。
- ・個人情報に対する問題点などの研修会
- ・津波に関する防災リーフレットなどの発行・研修会
- ・初めて出席したのですが、良かったと思います。
- ・防災活動、災害に対しての対応
- ・お茶の間サロンの拡大
- ・災害時の緊急避難活動について
- ・老人が健康でいられるにはどうすればよいのか。

4. 時間の関係で質問できなかったことなどがありましたら、自由にご記入ください。

- ・新しく引っ越し来た方のお名前などが教えてもらえるところが無く、とても苦勞しております。
- ・自治会長のスムーズな交代について
- ・現状は6年目で長いのかと思っているが、知っている会長は何十年も行っていると聞きます。それぞれは事情があると思うが、スムーズな交代はどのように行ったらいいか。
- ・小中学校と自治会の関わりについて話し合いを希望します。
- ・北区内でも限界集落が今後発生してくると思われる。解決策は。
- ・健康寿命延伸事業については、効果測定方法や実施内容に非常に疑問があります。小手先の対策をいくつやってもたいさくにはならないと思ってます。お役所仕事では結果は出ないと思う。効果が出なくてもだれも責任をとらない仕組みでは無理です。保健師さんなどのスタッフは問題ない人です。行政の仕組みが。
- ・つくし野自治会で「自治会館」を土曜、日曜以外は無料で開放していると発表され、これを住民から不満が出なければ最高だと思う。当自治会で同じことを実施した場合、先ず、会館運営委規程の改訂及び会館の光熱費の負担を利用者から徴収している団体との関係など実現には厳しいと感じるが、つくし野自治会の取組みはうらやましい限りです。
- ・老人クラブが無くなるまで手を打たないのか。北区健康福祉課の人が本当に仕事をしてほしい。10年前では老人クラブの人員が何人で現在は何人なのかグラフなどを作成し、少し考えていただきたい。なぜ20人以下になると老人クラブを解散せねばならないのかわからない。

平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。	
基本方針 2	福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。	
	事業名	サマーチャレンジボランティア 2018
事業目的・対象	<p>【目的・効果】</p> <p>①学生が地域活動や福祉の現場を直接知るとともに、福祉やボランティアに関心を持つ機会とする。</p> <p>②ボランティア体験により、参加者が自分も社会の一員であることを自覚し、また、自己有用感・自己肯定感につなげる。</p> <p>③学生の受け入れを通して、福祉施設や団体等が地域の社会資源であることを意識し、地域貢献につながるようなきっかけづくりとする。</p> <p>【対象】 高校生・専門学生・短大生・大学生</p>	
開催年月日	<p>① (チャレンジ 期間) 平成 30 年 7 月 29 日 (日) ～ 8 月 31 日 (金)</p> <p>② (開校式) 平成 30 年 7 月 22 日 (日)・26 日 (木)</p> <p>(閉校式) 平成 30 年 9 月 2 日 (日)</p>	
会場	<p>①各区活動先 (北区活動先別紙参照)</p> <p>②新潟市総合福祉会館 大集会室</p>	
参加者数	121名	共催団体


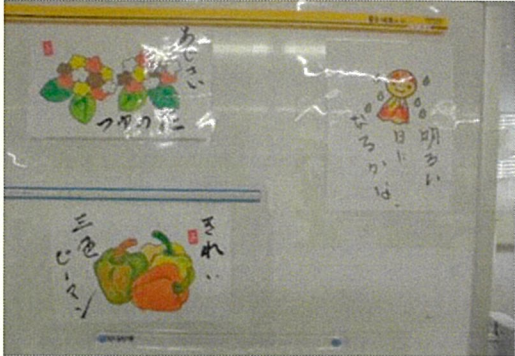
【実施内容・効果】

- 新潟市社会福祉協議会全体の取組みとして、開校式・閉校式を新潟市総合福祉会館で実施した。北区では12の福祉施設・団体から受入協力をいただき、北区在住の参加学生は6名だった。
- 活動受け入れ先の2施設 (新潟北愛宕の園・葛塚東第2ひまわりクラブ) へ出向いたところ、受入側の配慮により徐々に慣れて活動をしている参加学生の様子も見ることができた。
- サマーチャレンジボランティアの活動は、受入協力施設にとっても、ボランティアを受け入れる際の対応等を学ぶ場となる。また、参加学生は人によるこびを与えるうれしさを感じることができ、今後のボランティア活動や職業選択につながる体験の場となっている。

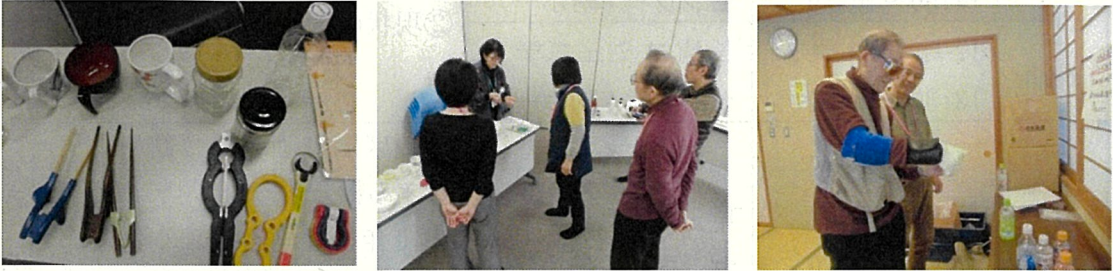


サマチャレ2018 受入協力施設一覧

	区分	団体名
1	障がい者(児)	放課後等デイサービス ピンポン
2	障がい者	社会福祉法人 愛宕福祉会 ドリームカレッジ
3	障がい者	社会福祉法人 愛宕福祉会 障がい者支援施設 松潟の園
4	高齢者	社会福祉法人 恵生福祉会 特別養護老人ホーム なぎさの里
5	高齢者	社会福祉法人 愛宕福祉会 特別養護老人ホーム 新潟北愛宕の園
6	高齢者	社会福祉法人 豊寿会 デイサービスセンター豊栄園
7	高齢者	医療福祉法人 愛広会 グループホームはやどおり
8	高齢者	社会福祉法人 春陽福祉協会 特別養護老人ホーム 新屋敷まつはま園
9	高齢者	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会 老人デイサービスセンターさわやか
10	児童	葛塚東ひまわりクラブ第1
11	児童	葛塚東ひまわりクラブ第2
12	児童	早通南ひまわりクラブ第2

平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業			
基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2	福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。		
	事業名	ボランティアきっかけづくり講座	
事業目的・対象	<p>【目的・効果】 配食サービスが終了したことを受けて、調理や配食に携わっていたボランティアの方々が、次の活動に取り組むためのきっかけの機会として開催する。</p> <p>【対象】 配食サービス事業に参加していたボランティア</p>		
開催年月日	<p>① 平成30年6月28日(木)・7月5日(木) ② 平成30年7月11日(水)・7月18日(水) ①②午後1時30分～4時</p>		
会場	<p>①北区豊栄健康センター ②岡方コミュニティセンター</p>		
参加者数	20名	共催団体	
<p>【実施内容・効果】 ※同一プログラムを2会場で実施 [1日目]・講話「ボランティアとは」 ・体験「車いす利用者のサポートについて」 「聴覚障がい者のサポートについて」「視覚障がい者のサポートについて」 [2日目]・体験「絵と手紙」 ・活動紹介</p> <p>○配食サービスの活動はベテランであっても、ボランティア活動やサポートの仕方等の基本を学ぶのは初めてという人が多く、どのプログラムも新鮮だったようで、勉強になったという感想を多くいただいた。</p> <p>○2回目の絵と手紙は大好評で、活動に活かしたいとか、これから活動としてやってみようという声もあった。講座修了後、ボランティアグループ立ち上げることができ、福祉施設での活動につなげることができた。</p>			
			

平成 30 年度北区社会福祉協議会主要事業

基本目標 2	助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針 2	福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。		
	事業名	ボランティアきっかけづくり講座	
事業目的・対象	<p>【目的・効果】 ボランティアの基礎的な知識や必要な技術を学び、活動に参加するきっかけの機会とする。</p> <p>【対象】 ボランティア活動に関心がある人</p>		
開催年月日	<p>【1日目】 平成31年3月15日（金）</p> <p>【2日目】 平成31年3月22日（金）</p>		
会場	北区豊栄健康センター		
参加者数	6名	共催団体	
<p>【実施内容・効果】</p> <p>[1日目]・講話「ボランティアとは」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講話と体験「高齢者の身体の特徴と高齢者疑似体験」 <p>[2日目]・体験「車いす利用者にサポートの方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験「視覚障がい者のサポートの方法」 ・体験「誰でも使える、生活を豊かにする道具を紹介」 ・活動紹介 <p>○参加者は少なかったが、その分、参加者一人一人の想いに寄り添った講座となった。活動を探す人、基礎を学びたい人等、皆が満足をして終わることが出来たようだ。さっそく活動につながった人もいる。</p> <p>○最近は特定の活動に特化した講座が多い。どのような活動をするにしても、ボランティア活動の基本を学ぶことを大切にし、ボランティアをして良かったと思えるよう、支援していきたい。</p>			
			

平成30年度北区社会福祉協議会主要事業				
基本目標2		助けあい、支えあう地域づくりを進めます。		
基本方針2		福祉文化の輪を広めるとともに支えあい・助けあいを担う人材の育成を進めます。		
		事業名	平成30年度地域福祉座談会	
事業目的・対象		<p>【目的】「北区すこやか・あんしん・支えあいプラン2015」に掲げた地区別計画の推進を図るため、日常生活圏域において広く地域の声を集め、取り組むべき課題を整理し、共通の理解を深める。</p> <p>※北区地域福祉計画・活動計画の実施計画に基づき、北区健康福祉課との共催により実施。</p>		
実施内容				
地区	開催日時	会場	テーマ	参加人数
松浜	11月20日(火) 14:00~16:00	北出張所 3階 ホール	①地区別計画の取り組みに対する振り返り ②現状の課題の整理、検討	13名
南浜	12月7日(金) 13:30~15:30	南浜連絡所 2階 ホール		39名
濁川	11月17日(土) 13:30~15:30	濁川連絡所 2階 ホール		9名
葛塚	11月30日(金) 10:00~12:00	葛塚コミュニティセンター 1階 研修室A・B	①地区別計画の取り組みに対する振り返り ②葛塚地区の助け合いに、住民ひとりひとりが、近所等にも関心を持ってもらうために自分たちができること	39名
木崎	12月12日(水) 13:30~15:30	木崎コミュニティセンター1階ホール	①地区別計画の取り組みに対する振り返り ②現状の課題の整理、検討	24名
岡方	12月21日(金) 14:00~16:30	岡方コミュニティセンター1階ホール		34名
長浦	12月20日(木) 13:30~15:30	長浦コミュニティセンター1階ホール		24名
早通	12月6日(木) 13:30~15:30	早通コミュニティセンター2階講堂	①地区別計画の取り組みに対する振り返り ②10年後の早通地区の姿を想定し、幸せに暮らすために今何をすべきか	16名
			合計	198名

[参考] 平成29年度 213名

地区	座談会が出された主な意見（新たな課題）
松浜	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ捨てや買い物、除雪について、自治・町内会内において既にたすけあいの活動がなされている所がある一方で、そうした活動がない所もある。 ・タクシーでスーパーに行く人を見かける。また、町中の商店で配達してくれるところがあったが、利用者がいなくて止めたという話も聞く。 ・普段から気にかけているが、外出できない人や困っている人自体が分からない。 ・自治会の人口が減っていて、空き家になる。 ・将来を見通して、今の子育て世代に重点的に福祉の支援が必要。 ・活動団体の数が減少。老人クラブ、自治・町内会婦人部、地域の茶の間等。
南浜	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所が必要だと思っている。 ・除雪の助けあいがあるとよい。 ・区バスの本数（特に午後の便）が増えるとよい。帰りの便が少ないため、利用を控えている意見もある。 ・認知症が病気であることを理解してもらいたい。 ・高齢化により、活動の場が繋がらない。老人会はあるけれど、活動が不活発で決まった人しか参加のない状況。 ・夏休みのプール解放がなくなったため、子どもたちの遊び場が少なくなった。
濁川	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回のお茶のみ（サロン等）はあるが、随時自由に参加できる所が欲しい。オープンな交流スペースが欲しい。 ・自治会と民生委員と連携協働していけるとよい。 ・交流を図り顔なじみの関係が必要。 ・ゴミ協の行事に参加するが、会場まで距離があり行くことが困難、移動手段がない（特に高齢者）参加はしたいが行けない。 ・高齢者の男性が活動に出てこない。 ・子供会、自治会との活動のための、まとめ役・リーダーが必要。
葛塚	<ul style="list-style-type: none"> ・昔から住んでいる方も近所との交流が無くなっている。 ・老人クラブに参加していない人の支え合いをどうしたら良いのかが課題。 ・高齢者の人は隣近所とのつきあいがいいことが、訪問をしていてわかった。 ・結婚していない40代50代のこどもがいる。若年世代が減り、小学校も閉校となるなど、若い世代がいなくなることが心配。 ・自治会長の次のなり手がいない。みんなリーダーになりたがらない。 ・子ども会に参加する時間が取れない、関わりたくないなど、子ども会を脱会したい声があり心配。

木崎	<ul style="list-style-type: none"> ・近所とのつながりが希薄。 ・高齢者独居、空き家が増えている。 ・自治会長が1年で交代するので、どうしても前年度の内容を踏襲することだけになってしまう。 ・子どもの減少、地区内の小学校の統合問題が現実。学校に対する考え方も、若い親世代と高齢者では違いがある（複式学級で学ばせたくない・地域に学校は必要等）。 ・未婚世帯が増えて後継者がいない。子どもが増えないので、地域が活性化しない。 ・ボランティアひとつをとっても担い手がない。若い世代が来ない。若い世代の意見を聞いてみたい。
岡方	<ul style="list-style-type: none"> ・岡方全体の集いの場はできたが、小さな自治会単位での集いの場が足りない。 ・登下校の見守りボランティアなど、無条件に自分たちの地域は自分たちが守るという意識がある。 ・日常の買い物に困る。免許返納者の移動手段がない。 ・高齢者の孤独や孤立が増え、これから先、家族葬が増えてくるのではないかと心配だ。 ・空き家が増えてきている。管理されず、放置されることにより、環境が悪くなる。町と違って、岡方は敷地が広いので、荒れ放題になる懸念がある。安心安全ではなくなる。 ・自治会活動や地域の茶の間活動の担い手の後継者がいない。次の世代がいない。
長浦	<ul style="list-style-type: none"> ・茶の間の運営が難しい。 ・世代間交流が少ない（若い世代がなかなか行事に出てこない）。 ・除雪などの困りごとを、隣近所に対応するのは困難。困りごとを解決するしくみを、自治会など組織としてつくれるとよい。 ・買い物や病院の通院が不安。交通手段がない。運転できても、重たい物を持つての移動に不安。 ・独居高齢者や、日中独居高齢者の困りごとが見えにくい。 ・空き家が増えている。生活環境が悪くなるし、不審者が子どもを連れ込むなどの心配もある。
早通	<ul style="list-style-type: none"> ・情報紙の活用（すくらむ）インターネットの活用、作成メンバーに若い人を加える。 ・有償のボランティア（ささえ愛ネットのようなシステム作り）。 ・近隣の人たちに関わる。まずは声掛け、男性の参加を増やすバーベキューを開催するなど、参加のきっかけの場を作る・子どもを集めよう（親もついてくる）。 ・空き家を有機的に結び付ける。 ・子ども、若者、年寄りの集える場所が必要。たとえば公園、今ある場所を有効活用する。